



大阪府遊技業協同組合
「特殊詐欺(ロマンス詐欺等)
被害防止啓発活動」事業



大阪府遊技業協同組合
理事長
平川容志さん

選考理由

大阪府遊技業協同組合は、20年近くにわたり「全国地域安全運動」にあわせて、地元警察や自治体と協力し多彩で大規模な防犯・安全活動を展開されてきた。昨年は、急増するSNS型投資詐欺やロマンス詐欺などに焦点を合わせ、タレント「タージン氏」を起用して市民への呼びかけ、ロマンス詐欺防止のポスターの作成と展示など、意欲的な活動が目立った。さらに防犯パトロール車両も継続して提供するほか、ラジオや新聞による広報活動にも注力された。久しぶりの大賞の受賞に、心から敬意と祝意を表したい。

社会貢献活動審査委員会
委員長代行
野口 昇氏



巧妙さを増す特殊詐欺の
被害防止に
地元警察とともに
地域密着で取り組む

安全・安心まちづくりキャンペーンで
投資詐欺やロマンス詐欺等にスポット

いわゆる「特殊詐欺」が後を絶たない。特殊詐欺とは、電話やSNSなどを通じて対面することなく信頼させ、指定した口座への振込みやその他の方法により、不特定多数の人から現金などを騙し取る犯罪である。その手口や方法はますます巧妙になってきており、ニセ警察詐欺、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺、キャッシュカード詐欺盗、SNS型投資詐欺、SNS型ロマンス詐欺などが代表的な特殊詐欺とされている。

かねてからひったくりなどの街頭犯罪の防止事業に取り組んできた大阪府遊技業協同組合（以下、大遊協）では、2018年より同事業の名称を「安全・安心まちづくりキャンペーン」と改め、毎年、秋の全国地域安全運動期間（10月11日～20日）に合わせて啓発事業を実施している。昨年は、大阪府警察本部との共催で、府内でも急増しているSNS型投資詐欺やSNS型ロマンス詐欺などの特殊詐欺被害の防止啓発に焦点をあてたキャンペーンに取り組むことにした。

まず、全国地域安全運動期間中に地元警察や自治体と協力して、タレントのタージンさんを特殊詐欺撲滅隊長や一日警察署長とする安全・安心まちづくりキャンペーンを府内8ヵ所（鶴見、福島、門真、東淀川、豊中、四條畷、天王寺、都島）で実施した。また、「ロマンス詐欺でキュンとくるセリフシリーズ」と題した4パターンのポスター（6,000枚）を作成し、主要駅や商業施設などに4枚1組で掲示した。



大遊協が実施した防犯キャンペーンの活動を伝えるポスター



「ロマンス詐欺でキュンとくるセリフシリーズ」ポスター（4パターン）

タレントを起用したキャンペーンや
ポスター、ノベルティ作成などで効果

安全・安心まちづくりキャンペーンの会場では、「大きな声で失礼します!」で始まるタージン氏の軽妙なトークやコント仕立ての防犯教室などに多くの通行人や買い物客が足を止め、特殊詐欺被害防止の話に聞き入っていた。

キャンペーンに合わせ、大阪府警の特殊詐欺被害防止啓発キャラクター「かもすけさん」と「+（国番号）から始まる国際電話番号に注意!」の文言が外袋に印刷されたパイナップル（41,200袋）、ロマンス詐欺被害防止標語を表紙に印刷したメモ帳（30,000部）などを作成して大阪府警に寄贈し、啓発活動に役立ててもらった。また、4パターンのポスターの一括掲示は、一見すると昨今流行のアニメ作品風に見えることで、幅広い年代から関心を集めていた。

大遊協ではキャンペーンを実施する8ヵ所の警察署担当者などとの日程調整等の打ち合わせやキャンペーン開催場所の実地調査などを行ったほか、地元ラジオ局2局を通じたキャンペーンの事前告知、『読売新聞』への広告記事掲載、ホール版ポスターの作成などで、本事業の広報に努めた。

大阪府内のSNS型投資詐欺、SNS型ロマンス詐欺認知件数月別推移（令和7年中・速報値）では、10月中198件から11月中125件へと一時的にはあるが減少に転じたことから、本事業の効果があったものと推定される。今回の活動に対し、大阪府安全なまちづくり推進会議会長（大阪府知事）から感謝状が贈られた。

電話による特殊詐欺被害を防ぐため 新マスコットを活用した啓発に協力

熊本県遊技業協同組合

「『電話で「お金」詐欺』等
対策マスコット『ワルモン』を用いた
被害防止対策支援」事業



理事長
藤井俊博さん

選考理由

詐欺が高齢者ばかりでなく若者にも触手を擡げている事を知り、智慧と手を差し伸べた。熊本県警のマスコット「ワルモン」を活用して被害防止対策グッズを各種考案して県警防止キャンペーンに提供した。さらに、ターゲットとなってきた若者に周知徹底が必要と考え、大学生などの2団体に声をかけをし、自らの世代の問題と共感した若い声は同世代に響いたであろう。官と若者と業界、3者が一体となった連帯活動は明るい波となってマスコミの注目するところとなり、一層世間から好感を持って見守られる活動となった。

社会貢献活動審査委員会 委員 協田直枝氏

キャンペーン用グッズの製作・寄贈と 啓発チラシの街頭での配布に参加

全国規模で頻発する特殊詐欺だが、その主要な手口の一つが電話を使ったものである。熊本県でも特殊詐欺による被害が急増しており、熊本県警によると、2025年1月～8月末までの県内の電話による詐欺被害は145件、約6億6,200万円で、2024年一年間の被害額である約4億4,000万円をすでに上回っている。そのため熊本県警では、昨年9月15日の敬老の日に、「電話で『お金』詐欺」被害防止キャンペーンを実施することにした。

そこでお披露目されたのが、熊本県のマスコットキャラクター「くまモン」に似た県警のマスコットキャラクター「ワルモン」である。

熊本県遊技業協同組合では傘下の熊本市遊技業協同組合と共催で、県警生活安全企画課と連携しながら、このキャンペーンの支援事業に取り組んだ。まずはワルモンを

フィーチャーしたインタビューボード（1台）、ステッカー（6,000枚）、のぼり旗（56枚）、パトカー貼付マグネット（230枚）、エコバッグ（3,000枚）、大型パネル（2枚）などのキャンペーン用グッズを製作して寄贈した。さらにワルモンが電話でだます手口を紹介し、注意を呼びかけるキャンペーンの当日には、会場となった熊本市中央区のびぶれす広場周辺の街頭で、大学生などで構成される防犯ボランティア団体「防犯若武者ベアーズ」や「熊本城おもてなし武将隊」などと協力して、熊本県遊技業協同組合青年部会のメンバーが啓発チラシの配布を行った。

キャンペーンの模様は地元テレビ局や新聞などで報道されたほか、被害防止活動に積極的に協力した功績により、県警生活安全部長から感謝状が贈呈された。



「電話で『お金』詐欺」被害防止キャンペーンにて青年部会のメンバーが啓発チラシの配布



県警のマスコットキャラクター「ワルモン」のグッズを制作して寄贈

地域から特殊詐欺被害を出さないため 支部一丸となって防止活動に取り組む

焼津市遊技業組合

（静岡県遊技業協同組合）

「地元警察署と連携した
『特殊詐欺被害防止活動』」事業



組合長
安田芳明さん

選考理由

焼津警察署、焼津地区防犯協会が主催する「特殊詐欺被害防止活動」に運動し、特殊詐欺被害防止専用の広報用ベスト250着の作成と寄贈と特殊詐欺被害発生ゼロの日に広報用ベストを着用して各店舗内での広報活動を行った。これらの社会貢献活動は焼津市で初めての試みであり、広報活動参加人数は焼津市遊技組合員だけでなく、焼津警察署、焼津地区防犯協会、地域安全推進員、市役所職員等延べ参加人数が約1,300人を超える活動に発展し、「特殊詐欺被害撲滅」に向けた機運が焼津市内で大きく高まる成果を得た事は評価できる。

社会貢献活動審査委員会 委員 荒生 均氏

特殊詐欺被害防止専用ベストの作成と ホールスタッフによる継続的広報活動

警察庁のホームページによれば、2025年に全国で発生した特殊詐欺件数は27,758件、被害額の合計は約1,414億に達している。連日のようにマスコミなどでその被害が報道されているが、一向に収まる気配がない。被害を防ぐためには一人一人の徹底した対策はもちろん、身近な生活圏レベルでの日常的な注意喚起が必要である。その一助となる活動に取り組んだのが、静岡県遊技業協同組合焼津支部（焼津市遊技業組合）である。

同組合では2024年中の焼津警察署管内での特殊詐欺被害額が約1億円と増加傾向にあったことから、その増加に歯止めをかけるため、警察署、焼津地区防犯協会からの要請に基づき、地域に対する社会貢献活動の一環として、特殊詐欺被害防止専用の広報用ベスト（250着）を作成し、寄贈した。視認性の高い蛍光イエローのベストは、

前面に「特殊詐欺被害ゼロ運動実施中」、背面に「騙されないでその電話!! 焼津市から特殊詐欺撲滅」の文言がプリントされている。そのうち100着を組合傘下のパチンコ店8店舗のホールスタッフ用に配布し、150着は地域安全推進員、市役所職員用として寄贈した。毎月15日に実施される「特殊詐欺被害発生ゼロの日」には、組合員ホールのスタッフがホール内で一日中、このベストを着用して広報活動を行っている。

こうした取り組みが呼び水となり、焼津地区防犯協会長が焼津市内の自治会連合会長、副会長、教育長、事業所代表など40名を集めて「焼津市特殊詐欺被害防止緊急対策会議」を開催するなど、特殊詐欺被害撲滅に向けた機運が高まっている。



安田組合長から焼津地区防犯協会副会長への広報用ベストの目録贈呈式



寄贈した広報用ベスト

地域に貢献できる企業をミッションに 必要とされる資金を継続的に寄付する

三重県 株式会社キング観光 「キング観光コミュニティ アシストR7」事業



代表取締役社長
権田 清さん

選考理由

近年、穏やかだった地域にも様々な事故や犯罪が頻発し安全への対策・防備は欠かせなくなってきている。桑名市キング観光は永年にわたって、地域に防災カメラの設置費用寄付、桑名市総合医療センターへの資金援助、日本介助犬の育成資金援助、防災対策車・青パト車の寄贈、さらには交通安全事故防止対策への援助など、実に多様な社会貢献を行っており、その支援総額は9千万円を超える。その組合ホルの「地域コミュニティの火を消さない」という熱意ある活動は最優秀表彰に値する。

社会貢献活動審査委員会 委員 永井多恵子氏

地域社会の持続に欠かせない事業を 息の長い資金援助によって支える

三重県桑名市に本社を置き、同県のほか愛知県、滋賀県、和歌山県に25店舗を展開する「株式会社キング観光」は、2026年5月に創業60周年を迎えた。同社では創業当初から地域貢献や社会貢献活動に積極的に取り組み続け、現在では地域コミュニティの持続を支えるために欠かせない企業として認知されている。

2025年中に実施した活動としては、1月に「公益社団法人 愛知県安全運転管理協議会」を通じて、愛知県内の交通事故防止活動を支援するための寄付（10万円）を行った。6月には愛知県長久手市にある「日本介助犬訓練センター シンシアの丘」を訪問し、活動資金（300万円）を寄付した。これで7年連続での寄付となり、累計額は2,100万円に達した。同じく6月には、地域医療の中核を担う「桑名市総合医療センター」に対し、医療従事者等の活動支援とし

て1,000万円を寄付した。これは医療現場において人命救助のために献身的に活動する姿勢に感銘を受けたことから始まったもので、2019年から7年連続で実施され、総額は7,000万円となっている。なお、同センターでは寄付金の一部を活用して「権田記念病院貢献賞」を2023年に創設し、病院の業務改善などに貢献した部門や職員を表彰している。8月には桑名市に対して、防災用車両として5人乗り4WDのプラグインハイブリッドカー、ならびに青パト（各1台）を寄贈した。12月には桑名市と桑名市観光協会に対し、桑名駅西土地区画整理事業の一環として予定されている複合交流施設の公衆トイレと大型ビジョンの建設・設置にかかわる費用（5,264万円）を寄付した。



「日本介助犬訓練センター シンシアの丘」への活動資金の贈呈式



桑名市に寄贈した防災用車両の贈呈式

防犯ネットワークの構築を目指して 警察と協力して有効的な対策を実施

岡山県パチンコ・パチスロ業協同組合 「警察と連携した『犯罪の起きにくい 社会づくりに関する協定』対策」事業

岡山県パチンコ・パチスロ業協同組合
理事長 千原行喜さん

侵入者に対する高い威嚇効果を持つ ソーラー式屋外用センサーライトを寄贈

近年、複雑多様化・頻発化する犯罪に対して、警察による取締りだけに頼るのではなく、自分たちの手で安全や安心を確保しようとする機運が全国的に高まっている。その後押しとなるのが、地域社会で事業を営む企業などのサポートである。岡山県パチンコ・パチスロ業協同組合では、2017年9月に岡山県警察本部と「犯罪の起きにくい社会づくりの推進に関する協定」を結び、相互に連携しながら防犯ネットワークを構築し、犯罪の起きにくい社会の実現を目指している。

この協定に基づき、定期的な検討会を重ねるなどの取り組みを行っているが、その一環として防犯関連機材などを寄贈している。これまでに防犯カメラ、防犯対策用電話録音機などを贈ってきたが、2025年2月には岡山県パチンコ・パチスロ業防犯協力が、公益社団法人岡山県防犯協

会を通じて、岡山県警にソーラー式の屋外用センサーライト（300台、協力会のシール貼付）を寄贈した。これは闇バイトによる強盗事件が全国的に多発していることを受けての対策で、夜間に敷地内に侵入者があるとセンサーが感知し、フラッシュが点滅することで、高い威嚇効果を発揮するものである。岡山県警では希望する家庭に配布したが、配布された家庭からは高い評価を受けているという。

県警本部の会議室で行われた贈呈式には、岡山県警生活安全企画課長、岡山県防犯協会専務理事、岡山県パチンコ・パチスロ業防犯協会会長などが参加し、会長である千原行喜氏から「近頃は闇バイトを使った凶悪犯罪が発生している。県民の平穏な生活を守るために有効活用してほしい」と挨拶した。



防犯機材（ソーラー式の屋外用センサーライト）の贈呈式



防犯機材の寄贈活動に対し県警から感謝状が授与された

新型コロナ禍以降に困難な状況にある 障がい者福祉施設利用者への継続支援

広島県遊技業協同組合

「障がい者福祉施設利用者の方々へ
『働く場と機会』を提供」事業

広島県遊技業協同組合
理事長 延川草喜さん

正月の来店客へ提供する飲料への 謹賀新年シールの貼付作業を依頼

新型コロナウイルス感染症の猖獗は、社会の様々な分野や領域に大きな影響や被害をもたらした。2023年5月に5類感染症に移行したものの、その影響が未だに続いているところもある。その一つが、障がい者福祉施設などの利用者に依頼される作業の減少である。こうした施設では、作業を通じて、障がい者に働く場と機会を提供するとともに、社会活動への参加と労働意欲の促進につなげている。

広島県遊技業協同組合（以下、広島県遊協）では、「新型コロナ禍以降、企業から受託する作業依頼数が減少している」という福祉協議会関係者から寄せられる声に応える形で、「大竹市社会福祉協議会」、呉市の「社会福祉法人 かしの木」、福山市の「社会福祉法人 芙蓉の家」の利用者に対して、2024年12月にシール貼付の作業を依頼した。この作業は、正月三が日に組合員ホールへ来店し

たお客様に総付景品または端玉賞品として提供される飲料品に「謹賀新年シール」を貼付するものである。企画に賛同する68ホールの組合員ホールが「株式会社ヤクルト山陽」から飲料品を購入（合計56,952本、約217万円）したうえで、シールの貼付作業料金として、3ヵ所合計で12万5,358円を贈呈した。

作業開始に先立ち、広島県遊協理事長、同役員、およびヤクルト山陽関係者などが依頼先の施設を訪れて作業開所式を開催したほか、2025年1月には広島県遊技会館において貼付作業料金の目録贈呈式を行った。この事業は今回が2回目の実施であったが、福祉協議会関係者からは、「作業依頼が減る中で、とてもありがたい。今後も継続してほしい」と要望が寄せられている。



「謹賀新年シール」が貼付された飲料品



シール貼付作業料金の目録贈呈式

依存問題対策に取り組む自治体に対し 対策協力金250万円を2年連続で寄贈

桑名支部（三重県遊技業協同組合）

「三重県桑名市との依存問題対策に
関する連携協定に基づく継続」事業

三重県遊技業協同組合
支部長 中川岳大さん

桑名市と依存問題に関する協定を 締結して連携して対策に取り組む

遊技業界にとって喫緊の課題であるギャンブル等依存症の問題について、国や地方公共団体は対策推進計画を定めるなどして、主体的に取り組むことが法律で定められている。三重県でも「ギャンブル等依存症対策推進計画」を定め、市町や業界団体との連携を重視している。

その計画の具体策が、2024年7月に桑名市と三重県遊技業協同組合（以下、三遊協）ならびに桑名支部との間で締結された「依存問題対策に関する連携協定」である。市政方針の一つとして依存問題対策を掲げる桑名市が、県内の医療機関や相談機関などとの協力を進める中で、依存問題に精力的に取り組んできた遊技業界の経験に着目し、依存対策の情報提供や共有などで三遊協に連携を要請したことから実現した協定である。

また、連携の要請を受けた三遊協桑名支部では、協定締

結時に桑名市に対して対策協力金として250万円を寄付しているが、対策の更なる充実を目的に、2025年9月にも対策協力金として250万円を桑名市に寄付した。

資金支援を受けた桑名市では、ワンストップ窓口体制、再発防止のための見守り体制、未然防止体制を構築することができ、その結果、現在では月に6件ほどの相談を受け、専門の医療機関や「こころの医療センター」などとの連携がスムーズになったほか、10代の子どもを持つ親などからゲーム依存に関する相談も多く寄せられ、青少年保護の観点からも有効な対策ができています。

市では、「今後も三重県遊技業協同組合や桑名支部と連携を密にし、さらに対策を充実させるとともに、他の市町にも取り組みを発信していきたい」と話しており、今回の寄付に対して、桑名市長から三遊協の権田理事長に感謝状が贈呈された。



桑名市との締結式で実施した協力金の贈呈式



依存問題対策に関する連携協定や協力金の贈呈に対して感謝状を授与

難病治療の子どもや家族を支える
 宿泊滞在施設へ物品や作業の提供

神奈川県 株式会社東横商事
 「重度の医療患者向け宿泊施設及び
 利用者への支援事業18年」事業

株式会社東横商事
 代表取締役 飯島隆史さん

毎月2回の定期訪問を18年間継続し、
 必要とされる物品や作業を直接提供

神奈川県横浜市戸塚区に4店のパチンコホール「東横フェスタ」を展開する「株式会社東横商事」は、健全な地域社会づくりへの貢献を使命の一つに掲げ、消費電力の削減、非常災害時の食料支援や避難場所としての店舗・駐車場の無償開放など、様々な活動に取り組んでいる。
 同社が2008年から継続して実施しているのが、「神奈川県立こども医療センター」が「認定NPO法人 スマイルオブキッズ」と協力して管理・運営する宿泊滞在施設「リラのいえ」への支援である。同施設は難病治療で受診する子どもや付き添い家族が通院しやすいようにと設けられた患者・家族の施設で、きょうだい児の預かり保育なども行っている。同社では毎月2回、従業員数名がローテーションで訪問し、飲料水、インスタント食品、消耗品などの支援物品を届けるほか、施設内の清掃・保全作業、業務の手伝

いなどを行っている。2025年は支援物品としてミネラルウォーター3,500本、レトルト食品 250個、カップ麺 350個、カップスープ100個、カップみそ汁 450個などのほか、お米、トイレトペーパーなどを提供した。
 これまでの18年間で、延べ約850名の従業員が活動に参加しているが、現在では本社やグループ会社の役員も含めて本事業に携わっており、グループ全体の社会貢献活動の大きな柱の一つとなっている。訪問する従業員のなかには新卒で親元から遠く離れて暮らす若手も多く、家庭の温もりを感じるひとときとなったり、献身的に子どもを看病する両親や家族の姿に触れることで、親のありがたさや健康であることの幸せ、懸命に生き抜く姿勢の尊さなどを見つめ直す機会にもなっている。



毎月2回、施設に向き飲料水、インスタント食品、消耗品などの支援物品を寄贈



施設内の清掃・保全作業、業務の手伝いなども実施

「すべての人がハッピーに」の思いで
 お菓子や未受領品を福祉施設等に提供

富山県 澤田グループ 株式会社ノースランド
 「スマイルプレゼント」事業

澤田グループ 株式会社ノースランド
 代表取締役 澤田辰勇さん

15年以上続くスマイルプレゼントや
 ファン感謝デー未受領品の寄贈

富山県内に「ノースランド」の屋号で14ホールを展開する「澤田グループ 株式会社ノースランド」では、「愛される人間・愛される企業」を理念に様々な社会貢献活動に取り組んでいる。その象徴とも言えるのが、お客様、従業員、関連企業など同社に関わるすべての人々に笑顔でハッピーになっていただきたいという思いを込めて実践している「スマイルプロジェクト」である。
 その一環として2010年から実施しているのが、全店の店頭に設置されたスマイルボックスにお客様から寄付されたお菓子を、県内の児童・障がい者・高齢者福祉施設などへ店舗スタッフが直接届け、交流を深める「スマイルプレゼント」である。お菓子の管理、梱包、配送先との調整、運搬までのすべての作業をスタッフが行い、2025年には計8施設に届けたが、これまでに寄贈した県内の施設や団体はのべ480以上に上っている。
 このほかにも、9月にはファン感謝祭において全店で引き

換えられなかったお菓子やインスタント食品、日用品などの未受領品781点を「社会福祉法人魚津市社会福祉協議会」に寄贈したが、これらの物品は同協議会を通じて、ひとり親家庭や自立生活の支援が必要な方に届けられることになっている。また、7月にはファン感謝デーの未受領品765点や災害備蓄品（液体缶ミルク）384本、2026年3月には未受領品372点を「NPO法人フードバンクとやま」に寄贈した。
 同社ではこれらの活動のほかにも、地域に根差した社会貢献活動の一環として、富山県内の保育園や児童福祉施設への遊具寄贈を実施している。加えて、節分やクリスマスなどの行事において社員が仮装して参加し、子どもたちとの交流の場を設けることで、物的支援と人的交流の両面から地域福祉の向上に寄与している。さらに、国内や海外での災害や紛争発生時における義援金や救援金の募金・寄付、プルタブ・エコキャップの回収、地域清掃活動などの社会貢献活動にも継続的に取り組んでいる。



寄付されたお菓子を県内の福祉施設などへ届ける「スマイルプレゼント」



お菓子以外にも日用品や災害備蓄品、遊具等も寄贈

新入学児童が安全に通学できるよう
ランドセルカバーを長年にわたり寄贈

宮崎県 株式会社西の丸
「小学校新入学児童へ
ランドセルカバー贈呈」事業

株式会社西の丸
代表取締役社長 西谷淳さん

地域への感謝と報恩の心を基本に
清掃活動やランドセルカバー寄贈

宮崎県東臼杵郡門川町に本社を置き、延岡市などに6ホールを展開する「株式会社西の丸」は、1976年の設立以来、「お客様が喜ばれる姿を見て我が喜びとする」ことを原点に、感謝・報恩の心で様々な社会貢献活動を実践している。その核となるのが、1994年に始まった「一善の会」で、毎月、延岡市、日向市、門川町などの道路、公園、海岸、駅、公共施設などでゴミ拾いや除草、花壇の植栽や手入れなどの美化・清掃活動に取り組んでいる。

さらに1999年から続けているのが、延岡市、日向市、東臼杵圏域にある小学校の新入学児童を対象に、反射材付きの黄色のランドセルカバーを贈る事業である。これは新入学児童の防犯および交通事故防止を目的にしたもので、子どもたちが安心して通学できる環境づくりに寄与することを目指している。毎年、各教育委員会を通じて新入学児

童数を事前に把握したうえで、ランドセルカバーの発注や仕分け作業を実施し、併せて各地区の交通安全協会と連携しながら、各所轄において贈呈式を行っている（東臼杵圏域については各自治体へ送付）。2025年度は1,582枚（約45万円相当）のランドセルカバーを贈ったが、これまでの27年間で累計贈呈枚数は6万枚に達する。地域や行政、関係機関や団体に根付いた活動として定着し、高い評価を得るとともに、活動の継続性や社会奉仕性が認められ、関係機関などから感謝状が授与されている。

そのほかにも同社では、青パトによる自主防犯パトロール、福祉施設入所学生に対する支援金と年賀状の贈呈、宮崎県企業協働河川アダプト制度による河川環境美化活動などにも継続的、積極的に取り組んでいる。



ランドセルカバーの寄贈式



継続的に実施している河川環境美化活動

第21回社会貢献大賞 受賞一覧

1、社会貢献大賞

申請団体		事業名
大阪府	大阪府遊技業協同組合	「特殊詐欺（ロマンス詐欺等）被害防止啓発活動」事業

2、社会貢献賞

		申請団体	事業名
都道府県組合部門	最優秀賞	熊本県遊技業協同組合	「『電話で「お金」詐欺』等対策マスコット『フルモン』を用いた被害防止対策支援」事業
	優秀賞	岡山県 パチンコ・パチスロ業協同組合	「警察と連携した『犯罪の起きにくい社会づくりに関する協定』対策」事業
		広島県遊技業協同組合	「障がい者福祉施設利用者の方々へ『働く場と機会』を提供」事業
支部組合部門	最優秀賞	焼津市遊技業組合 (静岡県遊技業協同組合)	「地元警察署と連携した『特殊詐欺被害防止活動』」事業
	優秀賞	桑名支部 (三重県遊技業協同組合)	「三重県桑名市との依存問題対策に関する連携協定に基づく継続」事業
組合員ホール部門	最優秀賞	株式会社キング観光(三重県)	「キング観光コミュニティアシストR7」事業
	優秀賞	株式会社東横商事(神奈川県)	「重度の医療患者向け宿泊施設及び利用者への支援事業18年」事業
		澤田グループ 株式会社ノースランド(富山県)	「スマイルプレゼント」事業
		株式会社西の丸(宮崎県)	「小学校新入学児童へランドセルカバー贈呈」事業

2025年 永年・特別永年活動顕彰一覧

		申請団体	事業名
都道府県組合部門	永年	千葉県パチンコ・パチスロ店協同組合	夢まるふぁんど事業（文化・国際、福祉、地域振興支援事業）
支部組合部門	永年	秋田中央遊技業協同組合 (秋田県遊技業協同組合)	秋田市市内の母子世帯援助施設に対する支援活動
		館林遊技業組合 (群馬県遊技業協同組合)	「子どもを守る地域貢献」として防犯ブザーを寄贈
	特別永年	垂水区暴力団と関係を断つ会遊技業分会 (兵庫県パチンコ・パチスロ協同組合)	垂水区暴力団追放キャンペーン 垂水区暴力団と関係を断つ会
		津山支部 (岡山県パチンコ・パチスロ業協同組合)	長期間にわたる社会福祉活動
組合員ホール部門	永年	広島市遊技業防犯協力会・広島市遊技業防犯協力会広島中央支部(広島県遊技業協同組合)	少年ソフトボール大会の共催
		株式会社ニラク (福島県遊技業協同組合連合会)	須賀川市 釈迦堂川花火大会観覧場所の無料開放とイベントの実施
	特別永年	株式会社白鳳/プレーゾーン白鳳 (山梨県遊技業協同組合)	地元消防団等への活動助成寄付金活動及びフードバンク山梨への食品菓子等の継続的寄付活動"